

「ニュース番組制作を体験！」

1 ワークショップのねらい

(1) ニュース番組制作の目的, 指導内容について考える

目的: ニュース番組制作における学びの要素を明らかにし, その授業力を身に付ける

大事にしたいこと: 映像に言語表現を組み合わせる力の育成

指導のポイント: 相手意識や目的意識の持たせ方
5W1Hを意識した文章表現力
話す速さや明瞭さに気をつけながら原稿を読む力
伝える内容に合わせた映像の選択
音楽を選曲するセンス

(2) 実際にニュース番組制作を体験しながら, 教師の仕掛けや配慮点としての指導構成や準備, 指導のポイントについて学ぶ

2 内容

テーマ: 「宿泊学習ニュースをつくろう！」
～映像(写真)と言語表現, 音楽を組み合わせたニュース番組制作～

実施教科の想定: 国語科など

時間: 3時間

3 ワークショップの場面設定

(1) 相手意識と目的意識

ニュース番組は, ある出来事を映像や言語(ナレーション, テロップ), 音(BGM, 効果音)により視聴者に伝えるものです。本来なら, ニュース番組の映像素材は動画が中心になりますが, このワークショップでは写真によるスライドショー形式でニュース番組制作を行います。また, 今回は文章の練り合いに重きを置いているため, 「撮影・取材」に関しては, 割愛しています。「撮影・取材」は重要な作業の一つですので, ワークショップの条件が合えば, 教師の意図によって適時, 指導に加えてもよいでしょう。

想定している授業は, 小学5年生が2泊3日の宿泊学習に行き, その様子をニュース番組にするというものです。見てもらう相手は全校の子どもたちです。この学習を通して, 伝えたいことがうまく伝わるように映像や言語, 音楽などを組み合わせる力を育てていきましょう。

(2) 子どもたちに付けたい力

- 経験したことがうまく相手に伝わるようにニュース番組をつくる力
- 映像, 言語, 音楽を組み合わせる伝える力
- 他者と協同して問題解決する力

(3) 活動の時間設定と手順

子どもたちの学習活動においては、以下の単元構成が一般的でしょう。

1. ニュース番組制作について理解する
2. 宿泊学習に行き、取材活動(ビデオや写真撮影も含む)を行う
3. ニュース番組を制作し、練り合いや編集を行う
4. 相手からの反応や意見をもらい、次への学習活動につなげる

このワークショップでは、ニュース番組制作の指導についての理解を図るために、「知識・理解」「構想・作成」「発表・評価」の講義と演習を、以下の構成で実施していきます。

【全3時間】

1. ニュース番組制作の指導について、考えてみましょう(10分)
2. 学習課題を設定し、活動の見通しを持ちましょう(5分)
3. ニュース番組の目的とコツを知りましょう(15分)
4. ニュース番組の内容を考えましょう(55分)
5. コンピュータを使って、ニュース番組をつくりましょう(55分)
6. 発表と評価をしましょう(30分)
7. まとめ(10分)

講義と演習部分の手順は、以下のようになります。

【1】〈ニュース番組制作の指導について、考えてみましょう〉

- ① 事例の問題点を考える
- ② ニュース番組制作の指導の「落とし穴」について考える
- ③ 学習指導要領(国語科)における位置付けについて確認する
- ④ ワークショップのねらいを知る

【2】〈学習課題を設定し、活動の見通しを持ちましょう〉

- ① 課題を知る
見てもらう相手: 全校の子どもたち
テーマ: 「宿泊学習ニュースをつくろう！」
子どもに付けたい力
- ② ゴールのイメージを持つ
→ ニュースを完成することが目的ではない
練り合いや検討のよさを体験することが大事
- ③ 活動の見通しを持つ
「内容検討」→「写真・動画選択」→「絵コンテづくり」→「ナレーション原稿づくり」→
「ニュース制作(コンピュータ)」→「相互評価」→「まとめ」

【3】〈ニュース番組の目的とコツを知りましょう〉

- ① ホンモノのニュースを視聴する
- ② ホンモノのニュースを見て気付いたことを書く
- ③ 気付いたことを発表する

【4】〈ニュース番組の内容を考えましょう〉

- ① 伝える内容を考える
- ② 写真や動画を選ぶ
- ③ 絵コンテをつくる
- ④ ナレーション原稿を書く

【5】〈コンピュータを使って、ニュース番組をつくりましょう〉

写真素材データをダウンロードする

- ① 写真や動画を選ぶ・並べる
- ② 長さを決める
- ③ 効果を付ける
- ④ 文字を入れる
- ⑤ 音声を録音する
- ⑥ 音を付け加える
- ⑦ オープニングとエンディングを加える
- ⑧ 内容を見る
- ⑨ 書き出す

【6】〈発表と評価をしましょう〉

※評価シートを活用する

- ① グループ順につくったニュース番組を発表する
- ② 相互評価を行う

【7】〈まとめ〉

- ① ニュース番組制作の学びの要素についてまとめを行う

4 準備

機器環境：複数人に1台のコンピュータ
使用ソフト：「ニュース制作」
USBメモリー


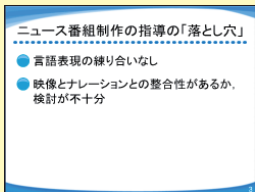
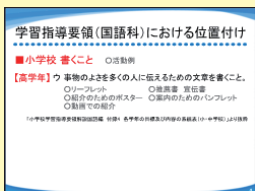
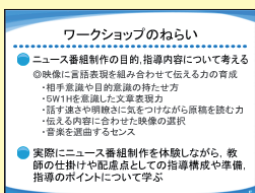
準備物：●参加者用ワークショップの手引き

- 提示用スライド
- 写真素材一覧(サムネイル画像)
- 写真素材データ
- ワークシート1「さくらのお酒の瓶詰め始まる」を見て
- ワークシート2「花背 山の家について」
- ワークシート3「ニュース番組をつくるポイント」
- ワークシート4「絵コンテシート」
- 評価シート
- 自己評価シート
- ソフト取扱説明書
- 筆記用具
- のり, はさみ

5 ワークショップの流れ

ニュース

「宿泊学習ニュースをつくらう！」

時間	主な発問と参加者の主な活動	進行上のポイント	留意点……赤字 配布物……青字
10分	<p>【1】ニュース番組制作の指導について、考えてみましょう</p>		
	<p>「ニュース番組制作の指導上の課題には、どんなことが挙げられるでしょうか。」</p>	<p>★ 教師の指導のポイントを明確にさせる ●</p>	<p>事例をもとに考えてもらう。</p>
	<p>① 事例の問題点を考える</p>  <p>[スライド2]</p> <p>※写真部分をクリックすると動画が再生されます。</p>	<p>問題提示 ●</p> <p>〔事例(宿泊学習ニュース)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5W1Hが伝わらない <ul style="list-style-type: none"> - いつ行ったのかわからない - たくさんの小学生とはどのくらいなのかわからない ● 事実より感想が多い ● <ul style="list-style-type: none"> - 「楽しかったです。」「うれしかったです。」という感想が多い ● 映像とナレーションの整合性がない <ul style="list-style-type: none"> - 「たくさんの小学生が利用しています。」のところで、清掃の写真が使われている - 「アスレチックが楽しかったです。」というナレーションで、実際に楽しそうに遊んでいる写真が使われていない。 	<p>1回目で問題点が出てこない場合は、注意すべき点を述べ、2回目を再生しましょう。</p> <p>ニュースとは、事実を伝えるもの</p>
	<p>② ニュース番組制作の指導の「落とし穴」について考える</p>  <p>[スライド3]</p>	<p>ニュース番組制作の指導の「落とし穴」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語表現の練り合いなし ・ 映像とナレーションの整合性があるか、検討が不十分 ● 	<p>起こりがちな子どもたちのつまずきと結びつけて説明する。</p>
	<p>③ 学習指導要領(国語科)における位置付けについて確認する</p>  <p>[スライド4]</p>	<p>学習指導要領(国語科)における位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」の領域 ● 	<p>体験に基づいた言語活動が重視されていることを説明する。</p>
<p>④ ワークショップのねらいを知る</p>  <p>[スライド5]</p>	<p>ワークショップのねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニュース番組制作の目的意識と指導内容 ・ 教師の仕掛けと配慮点 ● 	<p>ねらいは、ニュースの完成ではない。落とし穴の解決、教師の配慮点を学ぶことである。</p>	